

ジカウイルス感染症ってどんな病気？

ジカウイルス感染症は
主にジカウイルスを持っている蚊に
刺されることによって感染する病気です。



感染しても約8割の人は症状が出ません。

2割の人は蚊に刺されてから
2～7日後くらいに発症します。



妊婦さんが感染すると
お腹の中の赤ちゃんが小頭症に
なることがあると言われています。



ジカウイルス感染症の症状

発疹、発熱（微熱）、結膜充血
関節痛、頭痛など

ジカウイルス感染症Q&A

Q. ジカウイルス感染症はどこで流行しているの？

A. ブラジルなどの中南米で多く報告されていますが、
東南アジアでも感染者が出ています。



Q. ジカウイルス感染症は性行為で感染するの？

A. 性行為で感染したと考えられる事例が報告されています。
妊娠中は性行為を控えるか必ずコンドームを使用しましょう。



Q. ジカウイルス感染症の治療や予防は？

A. ジカウイルス感染症の治療薬やワクチンはまだありません。
予防は蚊に刺されないことが重要です。



ジカウイルス感染症に関する相談は最寄りの保健所へ
ジカウイルス感染症の流行地域から帰国後に
発熱などの症状がある方は病院を受診しましょう



蚊にさされないためには？



出かけるときは
肌の露出が少ない
服装にしましょう



防虫剤をこまめに
使いましょう



蚊が多いところで
寝るときは蚊帳を使いましょう。
蚊取り線香なども
役立ちます

その他の感染症にも気をつけよう！

TORCH症候群とは？

トキソプラズマ症、梅毒、風疹、サイトメガロウイルス感染症、ヘルペスウイルス感染症など、妊娠中の感染によってお腹の赤ちゃんに奇形などの先天性の異常を引き起こす恐れのある疾患の総称です。



TORCH症候群を防ぐためには？

母子健康手帳等でご自身やパートナーの予防接種歴を確認しましょう。
風疹の予防接種歴がない（またははっきりしない）、風疹抗体価が低い場合は風疹のワクチンを接種しましょう（妊娠中は風疹のワクチン接種はできません）。

火が十分通っていない肉を食べるのは避けましょう。
性交渉のときはコンドームを付けるようにしましょう。